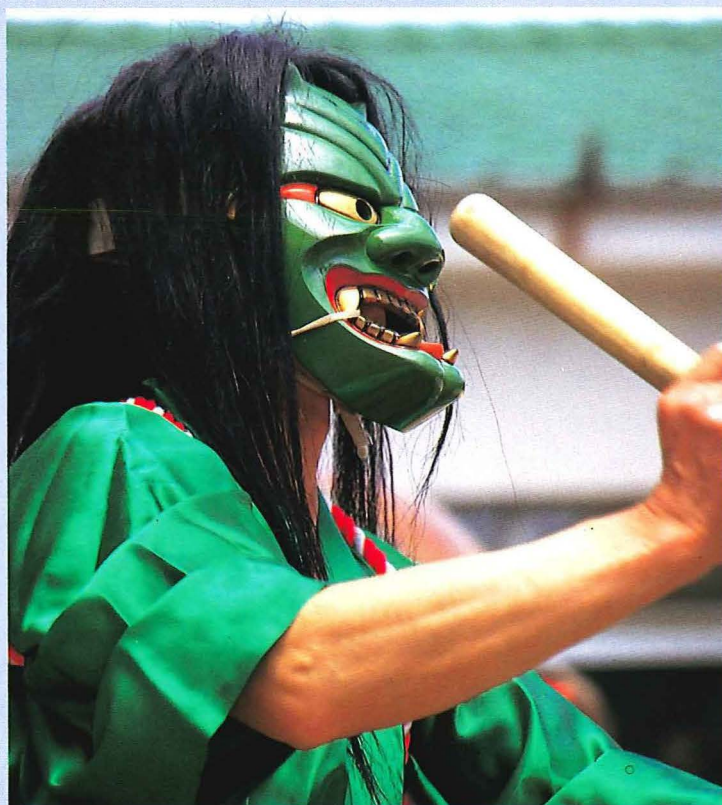


わがふるましのゆめを



石城の国



大和町

YAMATO CHO



住みよい・住みたい大和町に

「大きく和する」という主旨のもと、旧4か村が合併して『大和』となって今年で55年目を迎えます。その間、昭和46年の町制施行等を経て「住みよいまち 住みたくなるまち」を目標にかかげた町づくりが進められ、住環境の整備、福祉・教育・文化環境の整備、公共下水道整備、恵まれた自然環境を活かした観光施設整備、企業立地の推進、経営の効率化を目指す農業振興等の諸事業が推進されてまいりました。

本町出身の初代内閣総理大臣・伊藤博文公は、「人は誠実でなければ何事も成就しない。誠実とは、自分が従事している仕事に対して親切なことである」と学生たちを前に演説されています。現在、高齢化率が20%を超える本町にとって、この言葉の持つ意味は大変大きいと考えます。21世紀を目前に控え、人にやさしい、よりよい町づくりを目指し、今後も第3次大和町総合計画にある5本の柱「夢・ゆとり 明るい未来をひらくまち」「学ぶよろこび 豊かな心をはぐくむまち」「自然をまもり 住みよい環境をつくるまち」「思いやり やさしい笑顔にふれるまち」「創意と活力 活気にあふれるまち」を基本に、諸施策・諸事業に邁進してゆく所存です。

この町勢要覧は、本町の歴史や施策の一端をご紹介しますものです。この要覧を皆さんにご活用いただき、町政に対する理解を深めていただく一助となれば幸甚に存じます。

平成10年3月

大和町長 熊野茂公

CONTENTS

住みよい・住みたい大和町に	2
大和を歩く―四季の移ろいを追って	4
明治の元勳は大和の生まれ―伊藤博文物語	8
YAMATOTIC YAMATO―歴史と文化財	12
大和町の歩み	16
豊かな町づくり	22
夢・ゆとり―明るい未来をひらくまち	23
笑顔で作るGOOD COMMUNICATION	24
学ぶよろこび 豊かな心をはぐくむまち	26
自然をまもり 住みよい環境をつくるまち	28
思いやり やさしい笑顔にふれるまち	30
創意と活力 活気にあふれるまち	32
Town Information	34
DATA of YAMATO数字で見る大和町	35





特集1

大和を 歩く

四季の移ろいを追って

。



SPRING

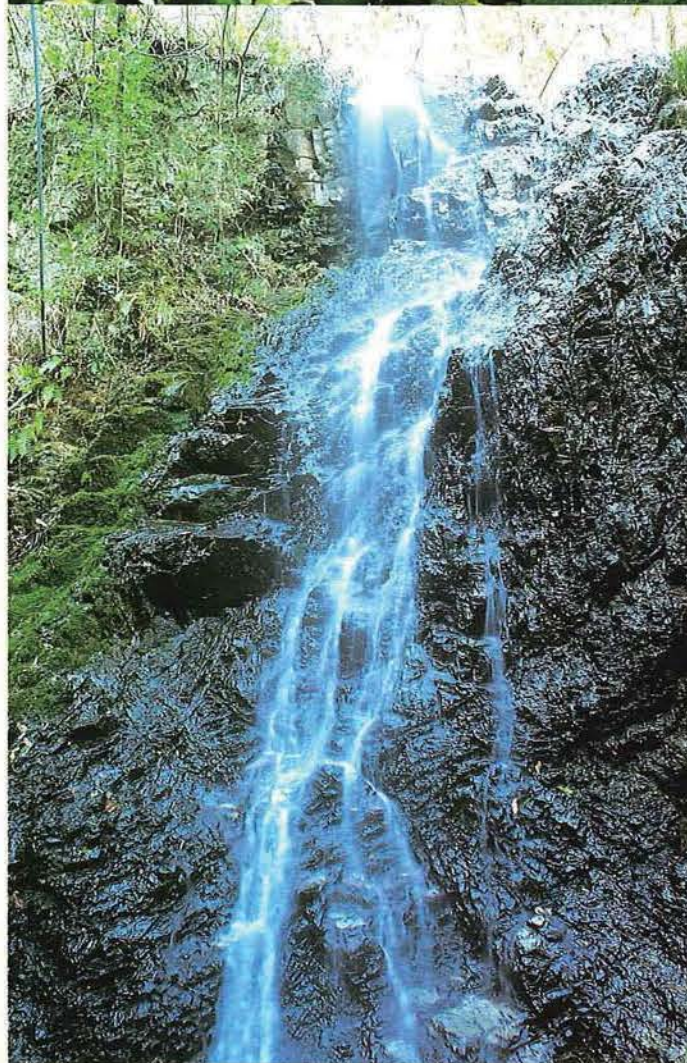


謎多き神籠石が巡る石城山。
深閑としたその神の山も、
桜に彩られる季節になると
宴を張る人々の賑やかなざわめきで
にわかに色めきたってゆく。
春はまた、大日山の祭りの季節。
かつては近隣に聞こえたこの古刹霊場の
大日市は2月と4月の28日。
植木市や農機具市、そして露天の駄菓子
の芳しい匂いが風に乗り、
香のかおりとかき混ざって、
郷愁をくすぐっていく。



SUMMER

日盛りの季節には、
夏なお涼しい「夕日の滝」がいい。
7月の風物詩といえば、
夜空を焦がす勇壮な火祭り「柱松」がある。
害虫を払い、豊年を祈るこの伝統の祭りは今、
東荷の黒杭で受け継がれている。
子供たちの祭り太鼓を習う音が
しきりに響いてくるところになると、益近し。
三輪、岩田の仮装踊り、
東荷、塩田では槍や刀さばきも鮮やかな「段事」も。
ふるさとを離れて暮らす人々の
懐かしい顔にきっとまた逢えますように……。



WINTER



AUTUMN

黒杭の池で春に生まれた白鳥の雛が
親鳥と見分けがつかぬ程に
大きく育ったころ、
池辺へ至る道すがら、
近隣に住まう人々の手で慈しまれた
たくさんのコスモスたちが
気まぐれな風に乗って遊ぶさまを見ることができる。
伊藤博文公生誕の地に建つ明治生まれの洋館も
紅葉や銀杏の錦繡をまとうて
艶やかに化粧直し。
大和に連なる山々も一面の畑も
いつしか秋色にくるまれている。

「ちはやぶる 神のいがきに 袖かけて」
太鼓や笛の鳴り物にのせ、
流麗な舞を納める東荷神舞。
太鼓の音が次第に荒々しさを増すうちに
太鼓打ちが人の姿から
赤鬼たちにとってかわられる石城太鼓。
豊饒の神々への祈りを込めた祭りを競う
「ふるさとまつり」の秋の一日、
自然への畏敬の念が遠い時を経て、
今も人々の胸の奥底でうごめき、
何ものかにかきたてられていることに気づかされる。
祭りのざわめきがひけば、
新たな年の訪れがもう間近に迫っている。

明治の元勳は 大和の生まれ

～伊藤博文物語～



初代総理大臣 伊藤博文は大和町の出身。東
荷には彼自身が設計した洋館が建っている。
総理大臣に就任以来、長年政界に君臨した人
物の私邸としては意外に小さいと感じる人も
少なくない。どんな立派な建物も冥土へは持
っていけないからと実用主義だった伊藤公。
親友井上馨は「音容目に在り」と彼の清廉な
人柄を賞した。69才で銃弾に倒れるまでの劇
的な生涯を、故郷での少年時代を中心に辿っ
てみる。

伊藤公記念館

●伊藤公記念館（県指定有形文化財）



●伊藤公資料館



●伊藤公生家

●左から伊藤公、父・十蔵、母・琴子



■庄屋もあ然。悪戯盛りの少年時代

「いいもの見つけたぞ!」。悪戯盛りの子供たちは、今も昔も畏れをしらない。遊ぼうと集まった村の鎮守の天満宮で、神殿の床下にしまっていた祭礼用の山車を見つけると、引きずりだして遊び始めたのだ。

「こらっ、何しよるか!」。たまたま参拝にきた庄屋の怒鳴り声に、みな大慌てで逃げまどう。が、見れば、そこにただ一人とどまった少年がいた。

「止めたけど、だれもきかん。じゃから仕方なしにいっしょに遊んでしもうた。」

家に帰った庄屋は家人に呟いた。「大胆な奴じゃ。よいほうに行けばよいが、悪くすると箸にも棒にもかからん人間になるかもしれん。」

少年の名は、林利助。のちに日本初の総理大臣になる伊藤博文である。



■貧しい農家の一人息子に生まれて

天保12年(1841)9月2日、利助は、現在の大和町東荷に、林十蔵と琴子の一人息子として生まれた。林家の本家は庄屋の家柄。その分家である父の十蔵は庄屋の下役、畦頭を務めてはいたが、貧しい小作農にすぎず、琴子の内職が苦しい家計を支えていた。

そんな暮らしにも利助6才の時終止符が打たれた。父一人萩へ旅立っていったのだ。生活が困窮を極め、再起を図っての決断だった。



■萩へ移住。養子縁組で伊藤姓に。

一家揃っての萩での暮らしが始まった。そして、父が奉公先である足軽の伊藤武兵衛の養子に入り、利助も下級武士の伊藤家の子となる。

士族の家に奉公に出た利助は、その勤勉ぶりが評判だったという。あたかも時代は黒船の浦賀来航で慌ただしくなり始めていた。

やがて決定的な出会いが訪れる。来原良蔵の従者となったあと、見込まれて吉田松陰の松下村塾を紹介されるのである。その時18才。折しも安政の大獄が始まり、半年にも満たぬ門下生生活であったが、ここで彼は高杉晋作や生涯の友となる井上聞多(馨)といった維新の志士らと運命の出会いを果たしたのである。

以後、幕末の激動期を経て、近代国家の礎を築きあげるにはなくてはならない国際的な視野を持った大人物に成長。明治18年に日本初の総理大臣に就任以来、計4回その職を務め、政治家としての頂点へと昇りつめていく。



●梅子夫人(左)と伊藤公



The Memory of

Prince Ito



母の里である東荷の秋山家へ、利助は母と共に預けられた。一家離散の憂き目に逢いながらも、利助は負けず嫌い。戦遊びでも本気になって策を練り、敵方の子に火傷を負わせてしまっ、その親が秋山家へ怒鳴り込んできたこともあったという。

またこんな逸話も残っている。雨の日に仲間たちと水溜まりの堤防を築きあったところ、利助のだけが崩れなかったという。水嵩が増せば堤防に小穴を開け、水が減れば土を盛る。そこに幼時から知恵者だった様子が見える。

やがて9才になった利助は母と萩へ行くことになる。一家共に暮らせるようになったのだ。秋山家の下男に揺られながら、利助の姿はだんだんと故郷から遠ざかっていった。



■見ることのかなわなかった「記念館」

時は流れて今、私たちは伊藤博文生誕の地に建つ2階建ての洋館で、かの政治家の暮らしの品々に接することができる。机や椅子、思ひがけず小さな寝台……。

この洋館は先祖の法要を行うために公自らが「ルネッサンス風」に設計したもので、清廉と称された人柄を反映して、華美さはないが、こじんまりとして愛らしい。

しかし、この建物が完成する前年の明治42年10月26日、公は初代韓国統監として視察に赴いていた当時の満州ハルビン(現在の中国東北地区)で韓国人青年の銃撃を受け、帰らぬ人となっていた。享年69才。9才で故郷をあとにし、以後25才の時の帰郷を最後に、再びこの大和の地を踏むことはなかった。

激動の時代を卓越した眼差しで見切り、乗



り越えていったそのたくましい生き方の原点は、逆境にも負けなかった、大和での少年時代にあるのかもしれない。

古代の謎を秘めた遺跡や由緒ある古社、そして維新の志士らの足跡……。わが町大和町の歴史ロマンを物語る数々の史跡や文化財を訪ねてみよう。

流浪の果てに帰郷した仏さま

■木造阿彌陀如来坐像（県指定有形文化財）

七重蓮華座に座られたこの如来坐像は、不思議な巡りあわせで、今、伊藤公記念館に収蔵されている。その昔、この仏像は東荷にあった林照寺という寺の本尊だったという。ところが明治に入って林照寺は廃寺となり、本尊は行方知れずに。そして明治24年、徳山の古

物商の店頭で偶然発見され、大正7年、やっとう東荷に戻ってこられたというわけである。特に注目されるのは七重蓮華座。藤原時代の作風がよく表された仏像一具が完全に近い形で伝存する例として、県内でも貴重なものである。



ロマンを秘めた古代遺跡

■石城山神籠石（国指定史跡）

だれがいつ、何のために作ったのか……。2533メートルにもわたる長大な列石の古代遺跡が、大和町と田布施町にまたがる石城山の8合目付近を巡っている。この「神籠石」と呼ばれる大規模遺跡は、北部九州から瀬戸内海に分布しているが、文献に記録がないため謎を呼び、明治時代から考古学者の間で神域説と山城説とで論争されてきた。昭和30年代の発掘調査により朝鮮式山城（神籠石式山城）であることが明らかになったものの、今なお謎は多い。そのひとつが築城の時期。これには6世紀末から7世紀頃とする説、平安時代の説などがある。朝鮮式山城を築城した目的については、大和朝廷が新羅などの外敵侵入に備えて築かせたとする説が有力。石城山では、東西南北4つの谷に高い石垣壁が築かれ、下部に人がやっと潜れるくらいの水門が設けられているが、この水門を昔の人々は「山姥の穴」と呼んで伝説を語り継いできた。

YAMATOTIC

YAMATO





維新の志士が 夢を鍛えた石城山

■石城山県立自然公園

■第二奇兵隊本陣跡

県立自然公園に指定されている石城山は、標高359.7メートル。山頂の展望台から広がる眺望はすばらしく、なだらかな緑の丘陵の向こう、島々が浮かぶ瀬戸内海まで開けている。山頂には駐車場と隣り合ってキャンプ場もあり、ハイキングやオリエンテーリングには絶好の山。普段は静かなこの山も、特に桜や紅葉の季節には賑やかになる。

石城山は幕末の歴史にも関わりがある。慶応元年(1865)、石城山近くにあった神護寺に、「第二奇兵隊」の本陣が置かれたのである。翌年に勃発した四境戦争の大島口の戦いにはここから出陣、おおいに活躍した。石城神社前には元内閣総理大臣岸信介氏作詩の「第二奇兵隊士碑」が建立されている。



●葦原神社

古代フアンタジー

緑に守られた



ひっそりと佇む 由緒ある神社

■石城神社（国指定重要文化財）

■石城神社山門

石城山キャンプ場のすぐ西に、茅葺きの古色蒼然とした山門がある。今は2神の隨身像が門を守っているが、その昔は石城山にあった神護寺の仁王門であった。安政4年(1857)毛利敬親によって再建されたものといわれている。さらに山門からの参道を西に進むと、鬱蒼とした杉木立のなかに石城神社が佇んでいる。本殿はこけら葺きの春日造り。勾欄の反り方や蕨股などに室町時代の建築様式の特徴がよく残されている。文明元年(1469)大内政弘の再建したもので、重要文化財に指定されている。神社の創建時期は明らかでないが、社伝によれば敏達天皇3年(574)とされ、天皇の勅額と伝えられる「石城宮」も保存されている。



大和町の歩み

新しい時代への軌跡

年月日	おもなできごと
弥生後期	・岩戸遺跡(岩田駅南西約1km、岩戸八幡宮境内。高杯、碗の破片出土) ・道宝遺跡(東荷字黒枕。石斧、土器破片多数出土) ・宇立遺跡(三輪字宇立神山山林の小丘上部斜面。土器散布地と包含層発見。竪穴式住居跡と推定) ・長玄寺(祇園原)遺跡(弥生式土器の広範な散布地と包含層、土器、須恵器破片多数出土) ・源城遺跡(塩田字源城の水田下、穀物貯蔵用甕出土)
古墳期	・石城山神龍石(石城山8合目付近) ・岩戸遺跡(土師質土器が多数出土。高台付杯・小皿碗の3種すべて祭祀土器。中国製磁器3片、そのうち1片は青磁、砥石1個) ・石城山遺跡(高田ヶ岳山頂五十猛神社・物部神社・若宮神社・石城神社付近、大和神社境内及び付近、南水門付近より土師器、須恵器の破片多数出土、すべて祭祀土器。布目瓦、古銭が神護寺跡から出土) ・溝呂井遺跡(岩田駅南約1.2km、岩戸遺跡の真下。土師器、須恵器、甕棺の口縁部、青磁、石小刀、特に須恵器の甕蓋に名前が記されたもの出土) ・源城遺跡(塩田字源城。甕が出土)
敏達帝3(574)	・石城神社創建
大同2(807)	・塩田村専修院の薬師如来像(弘法大師製作)
延長2(924)	・延喜式神格式に石城神社が収められる
寛弘5(1008)	・岩戸八幡宮現在地に移る
保延年中(1135~1140)	・大和国法隆寺住僧惠浄法師、仏舍利を奉持し東荷村に法隆寺を建立し、48坊を建立
寛正3(1462)	・釈玄栄、岩田村に邦光山教西寺を建立
文明元(1469)	・大内政弘、石城神社本殿を再建
永正11(1514)	・大内義興、石城神社を再興
延宝4(1676)	・塩田村正讃寺梵鐘鋳造される
享保15(1730)	・塩田村字小倉に稲荷社建立
宝暦4(1754)	・塩田村字伊賀に金毘羅社建立
10	・塩田村地下雇御用医として、石津玄二を雇い入れる
明和8(1771)	・塩田村字奥ヶ迫に行者堂建立
文政11(1828)	・岩田村森山七兵衛、雨桑に寺子屋を開設(生徒数 男18名 女9名)
天保6(1835)	・岩田村西念寺貞龍、八反田に寺子屋を開設(生徒数 男30名 女20名) ・岩田村教西寺住職国光厳浄、同所に寺子屋を開設(生徒数 男10名 女10名)
天保12(1841)	・伊藤博文、東荷村畔頭林十蔵の長男として生まれる
天保13(1842)	・各村人口、戸数 岩田村…313戸 1,395人 東荷村…313戸 1,210人 塩田村…414戸 1,717人 三輪村…112戸 2,808人
安政3(1856)	・三輪村森山幾之進、貞延に寺子屋を開設
安政年間(1854~1859)	・郡中大略を録上する 岩田村…306戸 1,339人 東荷村…294戸 1,163人 塩田村…422戸 1,700人 三輪村…254戸 1,058人
万延元(1860)	・東荷村林竹二郎、寺子屋を開設
文久元(1861)	・三輪村井原図書、美原に郷学縮注舎を開設
文久2(1862)	・塩田村石津文清、周地に寺子屋を開設
文久3(1863)	・東荷村福八子右エ門、森重静馬、寺子屋を開設

慶応元(1865)	5.15	・石城山へ第二奇兵隊が駐屯するに際し、陣屋建設のため杉77本、松1,455本、雑木300本、桧3本、竹1,985本、小竹21把半を、石城山境内山にて伐採を許可される
10		・第二奇兵隊、大座山で鹿狩 ・塩田村渡辺本、引地に東寺子屋を開設 ・塩田村寿山貞敬、専任院に寺子屋を開設 ・塩田村金山盛本、源城に寺子屋を開設
慶応2(1866)		・塩田村矢田親浄、佐田に寺子屋を開設
明治元(1868)	8.26	・養蚕法伝習のため、東荷村林九郎左衛門を但馬国へ派遣
明治3(1870)	1.13	・岩田村で多くの農民が蜂起し、竹槍などを持ち、鐘太鼓を打ち鳴らして暴動する
明治6(1873)		・教西寺に家塾を開設
明治7(1874)	2.27	・塩田村の矢島塾が塩田小学校として発足
5.10		・東荷村内の3塾を統合、東荷小学校として発足。校名を第6大区東荷小学校と称する
8		・塩田村の稲葉塾が稲葉小学校として発足
12.13		・塩田村の佐田塾が佐田小学校として発足
		・岩田村の家塾が岩田小学校として発足(生徒数 男25名 女9名)
明治8(1874)	1.5	・塩田小学校校舎新築
春		・塩田村稲葉浄泉寺にあった稲葉小学校が、実安の新校舎へ移転
明治9(1876)		・岩田小学校が初めて生徒の机、椅子を備える
明治11(1878)		・塩田村と東荷村が合併し、役場を村境の浄泉寺におく
明治12(1879)	7	・塩田、佐田、稲葉の3小学校を合併し、塩田村入野に済美小学校を新築
		・三輪村市に三輪郵便取扱所をおく
明治13(1880)	11.28	・岩田小学校と大塚小学校を合併し、岩田村宮太夫に校舎を新築
		・郡区町村編成により、三輪、岩田の両村が連合する
明治14(1881)	2.5	・東荷小学校新築落成
6.18		・東荷小学校校舎増築
		・塩田村、東荷村の連合を解く
明治15(1882)	12	・塩田村矢田治作、10釜の器械足踏座繰製糸を創始
明治16(1883)		・済美小学校は、東(佐田)と西(稲葉)に分校を置く
明治17(1884)	1	・岩田村、三輪村合併し輪田村となり、役場を三輪村上貞延に建築
3		・塩田村佐田青年会創立
		・塩田村小倉の光照寺に初めて駐在所を設置
		・済美小学校東西分校を閉鎖する
明治18(1885)	12.22	・伊藤博文、初代内閣総理大臣兼宮内大臣、外務大臣となる
		・済美小学校増築
明治19(1886)		・東荷村石原で、一ノ瀬井手宝暦番水表に準じて番水表を作る
明治20(1887)		・本年度東荷村の歳入歳出総額573円36銭2厘
明治21(1888)		・塩田村山中区のうち、旧原組は組合規約を作り、組内の協力親善をはかる
		・東荷村は衛生組合組織を作り、各区に組合長1名、幹部事1名、伍長数名を置く
		・三輪村勝間の三輪分校を廃止し、岩田村大塚の民家を借りて、輪田小学校分教場とする(生徒数 男42名 女27名)

明治22(1889)		・市町村制施行により、岩田、三輪、塩田、東荷の4か村にそれぞれ村役場を置く
		・市町村制実施によって市町村長の公選が行われる
		・市町村制実施によって輪田小学校を改称し、大塚の分教場を校舎とし、三輪尋常小学校とする
		・塩田村に室積警察署塩田巡査駐在所を新設
		・第1回村会議員選挙が各村で行われる
		・塩田村役場吏員俸給額 村長8円、助役5円、収入役4円、書記3円50銭~2円50銭、使丁1円50銭、臨時雇2円40銭
		・塩田村区長設置規則、村医規則を制定
		・東荷村組長(区長)設置規則を制定
		・塩田村戸数415戸
		・三輪村本籍戸数346戸、現住戸数393戸 人口1,576人
明治23(1890)	12.25	・東荷村役場及び村会新築に260円をあてることを村会で決議
		・東荷村戸数332戸、人口1,626
		・本年度塩田村歳入968円66銭9厘、歳出822円80銭
明治24(1891)	2	・東荷村役場庁舎新築(総経費822円80銭)
明治26(1893)	3	・塩田村立済美尋常小学校に、修業年限3年の補習科設置、小行司、東荷方面より通学
		・東荷小学校新校舎の建築始まる
明治27(1894)	4.7	・東荷小学校新築校舎の落成式を挙行(建築費総額1,516円81銭6厘)
		・東荷村新市に駐在所を新築
		・三輪村本籍戸数360戸、現住戸数287戸 人口1,532人
明治29(1896)	4.2	・岩田村大塚に室積警察署岩田巡査駐在所を新設
明治30(1897)	1	・山陽鉄道立野トンネル工事竣工
9.25		・山陽鉄道の広島-徳山間開通
明治32(1899)	6.5	・岩田村大塚に岩田駅を設置
6.9		・伊藤博文、熊毛郡を通過につき、教職員は児童を引率、岩田駅で歓迎する
6.10		・岩田駅営業開始
		・東荷村林啓次郎、製糸並びに蚕種製造場を邸内に開設
明治33(1900)	3.7	・城北館製糸場を塩田村佐田に増築拡張、職工約50名、4馬力の原動機を備え付ける
5.11		・三輪小学校新築落成及び開校式が行われる
6		・三輪村役場を明正に建築
明治34(1901)	2	・三輪村平田に農業試験場設置
7.6		・塩田信用組合(塩田農協の前身)創設
		・この年の米価、1俵4円50銭位
明治35(1902)	2.16	・岩田村大塚に郵便受取所を設置
		・岩田村の中道成之進、初めて自転車に乗る
明治36(1903)	4	・三輪村蚕業組合設立
9.30		・三輪村農会設立
9		・塩田小学校新築校舎へ移転
12.28		・城南、三輪、岩田、塩田の各村が衛生組合を設け、三輪村に隔離病棟を建築
		・この年から、各村内で自転車の使用が始まる
明治37(1904)	6.15	・大雨洪水により、山陽線島田-岩田間不通
12.31		・岩田郵便受取所を岩田郵便局と改める
		・東荷村青年会設立
明治38(1905)	3.2	・無限責任東荷信用組合設立
4.22		・三輪村青年会設立
明治39(1906)	10	・塩田村納税組合設立
		・この地方に、活動写真や蓄音機の巡業が来る
明治40(1907)	3.14	・東荷実業補習学校を設置、41年7月1日授業開始
5.27		・石城神社本殿を特別保護建造物に指定
6		・三輪産業組合設立
		・塩田村役場新築
明治41(1908)	4	・塩田小学校校舎増築
6		・岩田村青年会設立
		・塩田村火災予防組合設立
		・岩田村火災予防組合設立
明治42(1909)	1.1	・室積警察署塩田巡査駐在所が、平生警察署塩田駐在所となる
3.22		・岩田村養蚕組合設立
明治43(1910)	1.22	・東荷信用組合解散
5		・伊藤公記念館落成
		・伊藤公記念館道立野-東荷間竣工
明治44(1911)	12.20	・三輪小学校校舎増築工事竣工(建築費総額2,801円19銭9厘)
		・三輪小学校第2校舎建設

大正元(1912)	1	・塩田村役場を安楽に新築
12		・塩田出身力士間鍋貫一(沙貫)の碑を塩田村源城に建立
		・岩田小学校校舎が岩田村岡原に移築される
大正2(1913)	12	・熊毛郡北部連合物産品評会を三輪村で開催
大正3(1914)	4.30	・東荷村忠魂陣除幕式
5		・三輪小学校が勤労園を創設
大正4(1915)	3.8	・公設三輪消防組を設置
4.9		・三輪小学校に校医を設置
		・三輪村本籍戸数386戸、現住戸数316戸 人口1,773人
大正5(1916)	12	・戸数、人口 岩田村…290戸 1,451人 東荷村…310戸 1,462人 塩田村…415戸 2,284人 三輪村…313戸 1,765人
		・岩田駅乗車人員26,020 降車人員23,172
大正6(1917)	6.1	・岩田村立実業補習学校を開設
8.21		・東荷村青年会を東荷村青年団と改称
12		・海外移住出稼者 岩田村…119人 塩田村…245人 東荷村…93人 三輪村…83人
		・自転車の台数 岩田村…29台 塩田村…81台 東荷村…43台 三輪村…11台
		・荷馬車の台数 岩田村…8台 塩田村…14台 東荷村…11台 三輪村…8台
大正8(1919)	2.24	・三輪図書館設立認可
大正9(1920)	10.1	・第1回国勢調査 岩田村…288戸 1,305人 東荷村…308戸 1,333人 塩田村…417戸 1,909人 三輪村…320戸 1,449人
大正10(1921)	10.1	・三輪地域に送電され電灯がつく
大正11(1922)		・塩田青年団設立
大正12(1923)		・私立塩田西部消防組を設立
大正13(1924)	6.16	・東荷郵便局が設置される
9.30		・塩田村農業倉庫を佐田、源城に建設
大正14(1925)	9	・初めて三輪にラジオが入る
		・三輪小学校にラジオを設置
大正15(1926)	5.1	・三輪村少年団設立
5		・合資会社朝日製糸所を三輪村平田に建設
昭和2(1927)	10.15	・山陽本線田布施-岩田間複線開通
昭和3(1928)	12.16	・三輪村主婦会設立
昭和4(1929)	4.1	・塩田郵便局設置
昭和6(1931)	2.26	・三輪村が葉煙草完成試作地となる
昭和8(1933)		・岩田局に公衆電話と普通電話開通
		・合資会社朝日製糸所、糸価下落のため事業休止
昭和10(1935)	5.27	・三輪小学校校庭で二宮金次郎像除幕式
6.7		・石城山神龍石史跡指定
7.1		・東荷村立青年学校を開設する
9.16		・城南、塩田、三輪、岩田の各村共同の学校組合が設立され、8,000円の子算で塩田村(現大和中学校)への建設が決定
		・塩田小学校裁縫教室改築
昭和11(1936)	6	・合資会社朝日製糸所解散
7		・4か村学校組合立青年学校を塩田村周地に建設し、石城青年学校と冠称
昭和12(1937)	3.31	・岩田駅老朽化のため改築
		・塩田製糸工場城北館閉鎖
昭和13(1938)	9.29	・各地区で防空演習が行われる
		・学校にも防空壕を築造
昭和14(1939)	4.1	・4か村学校組合立石城青年学校に東荷村加入し、5か村学校組合立となる
7.20		・三輪村赤迫第960番地に時報サイレンを設置
		・三輪消防組を三輪警防団と改称
昭和15(1940)	1.26	・東荷小学校で曝公祭を開催
		・5か村学校組合立石城青年学校に女子部を設立し、石城実践女学校として認可される
昭和16(1941)	3.1	・国民学校令が公布され、岩田国民学校、三輪国民学校、塩田国民学校、東荷国民学校と改称
12		・国民労働報国令施行、学童も未開地の開拓、出征軍人家庭の農事手伝い、学校運動場で甘藷、南瓜を栽培
昭和17(1942)	9.18	・三輪村長松岡喜作が提出した合併に関する覚書について、4か村合併推進委員長田熊文助が承認



昭和初期の東荷村



4ヶ村合併を報じる新聞(昭和18年)



昭和30年代の岩田駅前



伊藤公銅像除幕式

年 月 日	おもなできごと
昭和18. 9.21 (1943)	・岩田、三輪、塩田、東荷の4か村が同日に村会を開き、4か村合併を決議 ・合併の具申書を山口県知事に提出 ・4か村合併の件について、岩田村役場で最終打合せを行う
10. 9	・4か村が合併して大和村（名称は一般公募により決定）となり、開庁記念式を三輪国民学校で開催
10.28	・大和村発足により、岩田・三輪の両国民学校は、名目統合して大和国民学校となる
11. 3	・合併後初の村会議員選挙
11	・岩田、三輪、塩田、東荷の各村農業委員会解散
12.15	
12.30	
昭和19.10.10 (1944)	・山陽本線岩田―光岡複線開通
昭和20 (1945)	・枕崎台風で大きな被害が出る
12.24	・村主催の復興軍人慰安会を石城青年学校で開催
12.29	・石炭不足のため、列車の運行が5割削減
昭和21. 7.15 (1946)	・大和診療所開設
昭和22 (1947)	・大和診療所に歯科部開設
4.10	・旧石城青年学校校舎を大和中学校校舎として開校
5. 1	・教員10名、生徒数295名、11学級
7. 1	・岩田小学校PTA設立
9. 1	・消防団令の発布により、従来の警防団を解散
12. 8	・学校給食開始
15	・農業協同組合法施行、従来の農業会を解体
昭和23 (1948)	・大和村耕地面積調査実施
1.27	・石城青年学校廃止
3.31	・砂糖と米との交換実施（米2斗につき砂糖10斤）
6. 8	・大和中学校校舎を新築（2階建10教室）
7.21	・村内各地区ごとに、農業協同組合を設立
8.14	
昭和24 (1949)	・大和診療所新築、村営移管として開設
昭和25 (1950)	・さつき短歌会が、森山右一、谷口青苑らを中心に誕生
5.26	・大和診療所を大和国保病院と改称開設、内科、外科、産婦人科、小児科、歯科
6.10	・石城神社本殿重要文化財に指定
8.29	・三輪地区に盆踊り復活「ひたき音頭」
昭和26 (1951)	・三輪小学校明星歌制定
2	・大和中学校講堂を新築
3.13	・大和村連合青年団結成
昭和27 (1952)	・大和中学校図書館完成
5.31	・塩田診療所開設
6.25	・東荷診療所開設
7.29	・大和村社会福祉協議会発足
	・伊藤公記念館、県より無償で払い下げられ、公民館として使用
	・大和村森林組合設立
昭和28 (1953)	・大和救護所を岩田小池に設置、定員50名
2. 1	・光市、田布施町、熊毛町とともに、伝染病隔離病舎組合を設立
4. 1	・東荷小学校校歌制定
10.10	・大和中学校校歌制定
昭和29 (1954)	・東荷小学校新校舎完成
2.25	・合併10周年記念式典を開催、各戸に記念品を配布
3. 1	・三輪小学校北校舎完成
12. 4	・大和村遺族大会を大和中学校で開催
昭和30 (1955)	・大和国保病院に熊北6か村伝染病棟併設（20床）
1. 6	・大和国保病院に結核病棟を設ける（30床）
10	・岩田小学校新校舎完成
7. 1	・塩田小学校新校舎完成（モルタル2階建）
28	
昭和31 (1956)	・塩田小学校簡易水道増設工事施工
昭和32 (1957)	・光市立野見を大和村に編入
4.10	・東荷小学校が熊毛地区健康優良学校として表彰される
7.10	・塩田小学校校歌制定
10. 1	・大和村簡易水道工事着工
12. 5	
昭和33 (1958)	・神手公営住宅20戸完成
3	・塩田小学校80周年記念式典、運動会開催
10.12	
昭和34 (1959)	・三輪小学校南校舎、講堂完成
3.17	

昭和34 (1959)	4. 1 5. 1 8.30	・大和村納税貯蓄組合設置 ・県立石城山青少年宿泊訓練所開設 ・大和村生活合理化運動協議会設立
昭和35 (1960)	3. 1 8.26 10.26 12.25	・保健福祉に関する全村アンケート実施 ・大和村有線放送電話農業協同組合連合会設立 ・伊藤博文銅像除幕式を、伊藤神社社殿跡で挙行 ・大和農業協同組合新築移転 ・大和村新生運動計画、大和地域農山漁村振興実施計画策定
昭和36 (1961)	3 4 7. 1 12.27	・山陽線の電化に伴い、大塚トンネルの改修始まる ・大和中学校給食室完成 ・有線放送開局 ・近政公営住宅20戸完成 ・三輪小学校環境緑化コンクール第3位入賞
昭和37 (1962)	3. 1 24 12	・石城山が県立自然公園に指定される ・石城山神龍石緊急発掘調査実施 ・大和中学校新校舎完成 ・大和村立大和保育園を岩田小池に建設 ・大和村交通安全対策協議会設立
昭和38 (1963)	1.20 2. 2 5.28 10. 1 11. 3 6	・東荷小学校講堂完成 ・文化庁斎藤忠、石城山神龍石の調査を行う ・郷土史委員会設立 ・塩田、東荷、大和農業組合が合併し、大和村農業協同組合として発足 ・合併20周年記念式典を開催 ・石城山神龍石第1次発掘調査を、文化財保護委員会と山口県教育委員会、大和村教育委員会共同で実施 ・伊藤博文の肖像入り新千円札が発行され、第1号を伊藤公記念館所蔵とする
昭和39 (1964)	1 3.22 6.15 9.30 10.31 11. 3 15 23	・石城山山上に「第2奇兵隊を懐く」(岸信介作詩)の石碑が建つ ・石城山にNHK柳井テレビ局が開局 ・岩田、塩田駐在所を廃止し、大和警察官駐在所を設置 ・大和村と光市の合併に関するアンケート実施(合併を可とするもの74%、否とするもの5%わからない6%) ・石城山神龍石第2次発掘調査 ・第1回村民体育大会を大和中学校で開催 ・大和中学校、山口県科学展で研究物特選となる ・東荷小学校校章、バッジ制定 ・大和村と光市の合併に関する総会を石城山青少年宿泊訓練所で開催し、合併促進協議会を結成
昭和40 (1965)	1.10 3.11 6.22 7.14	・広域行政特別委員会を設け、光市との合併について審議 ・周南工業整備特別地域(徳山市、防府市、下松市、光市、南陽町)に、柳井市、大和村、田布施町、平生町、熊毛町、都農町が追加指定される ・大和村役場新庁舎建設 ・熊北消防連絡協議会(光市、熊毛町、田布施町、大和村)結成
昭和41 (1966)	3.25 28 9. 2 13	・岩田小学校屋内体育館完成 ・石城山登山道完成 ・光市長と光市議会議長に、大和村と光市の早急合併を申し入れる ・大和中学校プール完成
昭和42 (1967)	2 6. 4 6	・岩田小学校校舎完成 ・大和村体育協会設立 ・第1回青少年育成村民会議を大和中学校で開催 ・岩田小学校校歌制定
昭和43 (1968)	1. 9 2.11 25 4. 1	・大和村章決定 ・大和国保病院を大和病院と改称し、鉄筋3階建、病床150床が完成 ・連合青年団、大和中学校で文化祭を開催 ・大和救護所を塩田に移転、改築
昭和44 (1969)	5.26 7.28 9. 1 12. 7	・郷土史編纂委員会開催 ・昭和43年度稲作コンクールで大和村第1位は塩田の坂本 歳雄さん ・大和病院、患者用の巡回車購入、利用開始 ・西八幡団地の入居始まる ・岩田文化愛好会、第1回発表会



合併20周年記念式典



第二奇兵隊石碑除幕式



大和病院(昭和43年)



第5回村民体育大会(昭和43年)

まちの歩み ●昭和●平成



町制施行記念式典



合併30周年記念式典



第10回町民体育大会(昭和48年)



三輪福祉会館竣工式

年 月 日	おもなできごと
昭和45 (1970)	3.19 岩田駅前到大和村最初の信号機設置 11.10 塩田の石城老人クラブと佐田老人クラブが、石城山県立自然公園などの清掃で、山口県知事より表彰される 18 三輪小学校音楽室完成 12.28 大和村光市合併促進協議会に、合併に関する光市長からの回答を説明 12 町制施行を村議会満場一致で決定 - 大和中学校屋内体育館完成
昭和46 (1971)	1.15 自治省告示第5号により、大和村を大和町とすることを決定し、町制施行大和町となる 3.31 平和地区に町営住宅5戸完成 4.25 町制初の町議会議員16名の選挙を行う 7 大和町簡易水道拡張工事 8.11 徳山市、下松市、光市、新南陽市、大和町、田布施町、熊毛町、鹿野町の周南地区4市4町を、広域市町村圏に指定 - 町教育委員会主催の子ども会リーダー研修会を、石城山で開催
昭和47 (1972)	3.9 塩田小学校生徒、石城山に小鳥の巣箱設置 25 溝呂井公営住宅10戸完成 5.23 大和町土地開発公社発足 6.17 岩田小池に大和町福祉会館完成 11.19 歩け歩け運動石城山大会開催
昭和48 (1973)	3.10 大和町商工会館完成 7.17 町民プール完成 8.26 町民プールで町内水泳大会開催 11.3 合併30周年記念式典を開催、大和町民歌発表 - 大和町同和教育推進協議会発足
昭和49 (1974)	2.26 岩戸遺跡調査開始 4.7 大内路復活 4 大和町文化協会発足 6.20 大和町史編纂委員会設立 7.2 塩田小学校プール完成 8 社会福祉法人特別養護老人ホームやまと苑新築工事 10 大和町老人クラブ連合会設立 26 大和中学校野球部が、第8回山口県中学校軟式野球選手権大会で優勝 8.12 第1回青空市開催 10.20 熊毛郡内子ども会球技大会、ソフトボール、ポートボールで東荷子ども会が優勝 11.3 第1回文化展を町福祉会館で開催
昭和50 (1975)	1.29 東荷公民館、農協東荷支所、町役場東荷出張所完成 7.18 大和病院増築工事(鉄筋6階、病床260の総合病院に) 8.13 東荷青年団が、伝統の火の祭典「柱松」を復活 10.16 ライスセンターが東荷上勘田に完成
昭和51 (1976)	2.15 第1回町内駅伝大会開催 5 三輪小豆尻に公営住宅6戸、三輪地区に改良住宅2戸が完成 8.18 塩田源城に老人憩の家完成 11.6 大和町第2保育園完成 - 塩田地区に伝わる石城太鼓復活
昭和52 (1977)	6.1 塩田公民館が農協塩田支所と併設で完成 7.7 三輪福祉会館完成 8.15 東荷小学校プール完成 12.12 石城神社に自動消火装置を設置
昭和53 (1978)	4.1 東荷神舞復活 5 周東大規模農道開通 10 大和町給食センター完成 11.3 中央児童公園完成 4 やまと音頭、踊りを発表披露
昭和54 (1979)	1.22 岩田小学校新築移転 6.10 岩田駅前80周年記念行事開催 9.1 大和病院創立30周年記念講演会を開催 10 伊藤公記念館新装開館 11.10 三笠宮殿下が、全国レクリエーション大会サイクリング部門視察のため来町 12.14 都市計画用途地域の決定
昭和55 (1980)	3 三輪教育集会所改築 10.15 第1回大和町花いっぱい運動を大和救護所で開催 11.16 第1回商工まつり開催

昭和56 (1981)	2.12 大和中学校特別教室棟完成 4.3 初の9,000人目の町民が登録される 7.12 塩田土地改良区設立 12.15 大和町都市計画下水道決定(岩田、三輪の一部172%)
昭和57 (1982)	1.25 三輪小学校普通教室棟完成 3.5 やまと大橋(町道上岩田一中岩田線)完成 4.1 大和町農産物加工センター開所 16 木造阿弥如来座像、県指定有形文化財に 23 町指定有形文化財第1号に塩田正續寺梵鐘を指定 10.1 福祉作業所を旧岩田小学校跡地に設置 12.21 三輪小学校管理特別教室棟完成
昭和58 (1983)	2.28 作家・松本清張氏が石城山神龍石を調査 5.14 大和病院ダイケアセンター、大和町保健センター完成 7.18 岩田小学校プール完成 8.31 後畑不燃物処理場完成 9.4 町民憲章、町木、町花制定 10.1 国鉄バス、岩田駅—光市戸仲—光駅間運休となる 11.2 町民憲章石碑除幕式挙行 3 合併40周年記念式典を開催
昭和59 (1984)	3.3 国指定重要文化財石城神社本殿の屋根吹替工事完成 9.20 町総合運動公園計画を、大和町都市計画審議会で承認 9.28 カード式公衆電話が岩田駅前に初めて設置される
昭和60 (1985)	6.10 大和中学校、教材としてパソコン10台を導入 6.20 三輪小学校プール完成 7.4 塩田小学校緑の少年隊結成 9.13 岩田末常で古墳時代後期円墳発掘(末常古墳) 10.2 町内の防犯交通バス3路線が廃止となり、代わりに町営バス運行開始 12.7 大和町有形文化財に慶宝寺11面観世音菩薩像、有形民俗文化財に宗通寺石風呂が指定される
昭和61 (1986)	5.20 大和町観光協会設立 9 磯山住宅完成
昭和62 (1987)	3.18 平生警察署大和警察官駐在所が岩田駅前に移転 11.5 大和町観光協会が、伊藤公肖像入り旧千円札第1号券のテレホンカードを発売
昭和63 (1988)	4.5 大和町流域関連公共下水道通水式 11.8 大和町役場新庁舎完成
平成元 (1989)	9 初代AET(英語指導助手)ヘリヤーさん着任
平成2 (1990)	9 中岩田住宅完成 12.3 野菜生産チャレンジ農場完成 12.6 振替納税推進の町宣言
平成3 (1991)	1 町役場のサイレンがミュージックサイレンになる 4 出産奨励金制度ができる 7.3 大和工業団地にゼオン化成が進出(第1号) 9.2 伊藤博文公生誕150周年記念式典開催 9.27 台風19号により大きな被害が出る 9.30 大和町有線放送が廃止される 11.10 伊藤博文公生家を移築、復元
平成4 (1992)	4.1 東荷に福祉作業所あけぼの園完成 10.24 後畑不燃物処理場第2期工事完成 12.11 伊藤公記念館が山口県指定有形文化財となる
平成5 (1993)	1.18 岩田郵便局舎移転 3.6 大和町更生保護婦人会結成 4 防災行政無線を設置 7 長雨、台風で町内各所に大きな被害が出る 11.3 合併50周年記念式典を開催
平成6 (1994)	2. 大和町スポーツセンター供用開始 2. やまと苑在宅介護支援センター開設 5. 周南広域農道全線開通
平成7 (1995)	4.1 町立大和病院が総合病院になる 4.1 総合運動公園多目的グラウンド供用開始 10.21 まほろば連邦加盟市町村の災害時における相互応援協定を締結
平成8 (1996)	4.1 総合運動公園多目的グラウンド照明設備供用開始 11.30 伊藤公記念館閉館
平成9 (1997)	3. 大和町住宅マスタープラン、大和町障害者福祉プランを策定 9.2 伊藤公資料館オープン



やまと大橋渡り初め



町民憲章碑除幕式



大和中学校パソコン導入開設式



伊藤博文公生誕150周年記念式典

豊かな町づくり

- 交 流
- 人づくり
- 環 境
- いきがい
- 産 業



概要

本町は、周囲を低い山に囲まれた丘陵地帯で、古くから米、麦、蔬菜などの生産地として、農業的土地利用を中心に発展してきました。昭和18年に岩田、三輪、塩田、東荷の4ヶ村が合併、村名を4ヶ村の垣根を取りのぞき「大きく一和」して将来の発展を期す意を表した「大和村」としました。のち、立野慶見を編入、昭和46年に町制を施行し、現在に至っています。

夢ゆとり
明るい未来を
ひらくまち

● 交流 ●

よりよい町にするために



左から上田義英教育長 山根秀晃収入役 熊野茂公町長 國光仙二助役

『町民とつくる調和のとれた町』を目標に、町では多様化、複雑化する住民のニーズに応えるため、基本計画などに基づく長期的、計画的な町政の推進と行政機能の強化を進めています。また、財政面でも健全財政を維持しながら各種事業を行い、あすの大和を担う子供たちに『住みよいまち・住みたくなるまち』を手渡せるよう努めています。

町議会は、選挙によって選ばれた16名の議員で構成され、町民に代わって条例の制定、予算などを審議し、町政運営の方針を決定する最高決議機関です。議会には3・6・9・12月に開催される定例議会と、必要に応じて開催される臨時議会があり、専門的な審議機関として常任委員会、議会運営委員会および特別委員会が各種審議を行っています。また『議会だより』を発行して、議会の活動状況を町内の全世帯にお知らせしています。



笑顔で作る
Good
Communication

●交流●

MAHOROBASUMMIT



◆まほろばサミット

現代の「まほろば」(すばらしいところという意味。大和にかかる枕詞)の創造という崇高な理念のもとに、相互の理解を深め、お互いの自然、歴史、文化を尊重し、それぞれの発展に協力しあう……。そんな目的で建国された「まほろば連邦」に加盟する全国12の大和(やまと・だいわ・たいわ)という名前を持つ市町村が一同に集まり、お互いの抱える諸問題を話し合うと共に、地域間の交流を深める目的で年に1回開催されています。平成5年は本町引き受けて開催されました。



●ロンドン大学学長代理一行



●AET エリオット先生

◆国際交流

町では、国際化時代に対応できる人材を育成するため、平成元年から、町単独で大和中学校にAET(英語指導助手)を置き、外国語教育の充実を図っています。また、周南地区中学生等海外派遣事業にも参加し、毎年、中学生を夏休みに海外のホームステイ先へ派遣しています。さらに、伊藤博文公と関係の深いロンドン大学などを通じ、海外との交流に努めています。



●平成9年度 カナダへ留学した大和中生徒



●石城苑フェスティバル



●石城神子舞



●東荷神舞



●大和ふるさとまつり



●黒杭の柱松



●大田市



●石城太鼓

◆まつり

伝統ある冠念寺の大田市や各神社の夏祭り、秋祭りなど、年間を通じてさまざまな祭りが開催されていますが、町民みんなが参加できる祭りをということで、昭和55年に、商工まつりとして始まった“大和ふるさとまつり”は「心をあわせてよいまちに」をメインテーマに、毎年11月上旬に行われ、各種物産展やステージ、総踊りや仮装行列などで賑わいます。また平成5年度からは“まほろばフェスタ IN YAMATO”として、より大規模になっています。



MATSURI

大和

学ぶよろこび
豊かな心を
はぐくむまち

●人づくり●

あたたかく



大きな人を育む



町内には中学校1校、小学校4校があり、どの学校も子供たちの個性をのび、人間性豊かな教育を進めています。また、町も各学校に教材としてパソコンを導入するなど、学校施設や学習教材などの充実を図っており、学校と家庭、そして地域の3者が一体となって「たくましい大和っ子」の育成に努めています。

人として生まれたときから、人は一生学び続けてゆくものです。町では生涯学習を進めるため、同和問題、教育問題、婦人問題などに関するさまざまな講座や講演会を開催しています。また、町福祉会館をはじめとする各施設は、サークル活動やレクリエーション活動を中心に活用されており、社会教育活動の拠点となっています。

可能性
すくすく



やまの
人

元・大和中学校吹奏楽部顧問
伊場 恭子さん



みんなで楽しめる音楽を



大和中ブラスバンド部は、平成5年の県吹奏楽コンクールで念願の特別賞(最優秀)をいただきました。昭和56年に創部、その年から毎年入賞していますが、特別賞は初めてで、いっしょに頑張ってきた生徒ともどもたいへんうれしく思っています。吹奏楽は、どのパートもみんな大切、一人一人が自分の音に責任を持たなければなりません。そして一本の指揮棒に集中して、あわせる喜び。コンクールや秋の定期演奏会で演奏し終わったときの充実感、感激。生徒の顔は本当に「青春の輝き」に満ちています。定期演奏会も11回を数えますが、クラシックあり、ポップスあり、ヒットソングありで、地域の方々にも楽しんでいただければと思っています。このたび新しい立派な体育館ができ、さっそくステージで演奏させていただきましたが、これからは大人も子供も楽しめる、いい芸術に接することができるような場、機会をどんどん設けてほしいですね。

自然をまもり
住みよい環境を
つくるまち

●環境●



緑うるわしきいとしのわが町



●下水道工事



●出初め式



近年、水質汚濁やごみ問題など環境問題に対する関心が高まっていますが、町では、住みよい環境づくりのため、上下水道の整備や道路整備、町営住宅の建設、町民の憩いの場、スポーツ活動の場としての総合運動公園の建設など、都市基盤の整備を計画的に進めており、平成5年3月末現在、簡易水道の普及率は56.8%、下水道の普及率は29.4%。道路の舗装率は平成5年4月1日現在、県道が100%、町道が98.68%となっています。

また、日常生活から出されるごみについては、可燃ごみは周南地区衛生施設組合、不燃ごみは周南東部環境施設組合に加入して処理を行っています。万が一の火災に備えては、光地区消防組合に加入する一方、町内各地区に消防団の分団（5分団）を置いています。

暮らしの
基本



●大和町スポーツセンター



●恋路クリーンセンター（可燃ごみ）



●町営住宅

やまの
人

木村 松市さん



きれいだと気持ちいい

毎朝散歩のついでに空缶を拾います。3年くらい前から始めました。雨の日以外は毎日歩きます。町内で6つ程コースを決めておいて、順番に歩くようにしております。コースにもよりますが、だいたい1時間半から2時間くらいかかりますかね。拾った空缶を入れるのにいつも袋を提げていきますが、多いと持ちきれませんので、途中でドラム缶を置いてもらっております。落ちておるのは人気のないような、民家のないようなところ。時にはいくつもまとめて袋に入れて捨てておるのもありますね。この散歩と、あと、大豆を酢に漬けたのと、にんにくを毎日食べるのが元気に暮らす心かけです。よく「たいへんですね」といっていわれますが、散歩するついでじゃし、歩くのは健康にええですから苦にはなりません。ひとつでもふたつでも空缶が減れば、気持ちええですからね。

思いやり
やさしい笑顔に
ふれるまち

●いきがい●



●デイサービスセンター



●やまと苑入浴サービス



●あけぼの園



●石城苑

他人を思いやる心 優しいふるさと



いきがい健康



●敬老会



やまとの人

寺田 元蔵さん



人に喜ばれるように

また、心身に障害のある方たちの福祉施設として、救護施設「石城苑」や心身障害者福祉作業所「あけぼの園」があり、自立を目指す方々のお手伝いをしています。

出生率の低下に伴い、本町でも児童数が年々減少しています。この傾向に少しでも歯止めをかけようと、町では出産奨励祝金制度を設ける一方、乳幼児検診や乳幼児相談を実施し、お子さんの健やかな成長を支援しています。また、女性の社会参加が目覚ましい今日、町立の保育園を置き、お母さん方が安心して働ける環境づくりに努めています。

昔、県の職業訓練所で竹細工を習ったのがきっかけで、頼まれて柳井で途絶えておった金魚提灯を作るようになったんです。教えに行きますよ、今でも、あちこち。材料を全部積んで自分で運転して。婦人会や子ども会、子どもさんは夏休みの宿題に作るんですね。平生警察署からは交通安全運動で配るのに作ってくれといわれて、小さいのをようけ作ります。作るの、まあ、根(気)のつめる作業です。竹からひごを作って、そのひごを曲げて骨組みを作る。それから家内が紙をはります。蠟を引いて、赤を塗って乾かして、墨を入れる。乾いたらひれ付けて出来上がり。慣れた人でも1日に30個ぐらいですね。たいへんじゃけど、人様に喜んでもらえればうれしい。私は仲間やいろんな会のお世話役やらお引き受けしとりますが、これもそうでね、人に喜んでもらえるというのが私のいきがいです。

創意と活力
活気にあふれるまち

●産業●

作る喜び、働く楽しさ



本町は、古くから稲作を中心に、野菜などの栽培、家畜の飼育など、農業が町の中心産業となっています。しかし、兼業農家が多数を占めている現在、ほ場整備事業や生産基盤整備、中核農家の育成などによる特色ある集落づくりを行い、明るい活力ある農村づくりへの取り組みを行っています。

林業は、農家の副次的経営形態となっていますが、町土の保全、水源のかん養、風致の保護といった面から、町と森林組合が一体となって森林総合整備事業を進めています。

商業は、食品の小売店が中心で、他の日用品の近隣都市への依存度が高い中、商工会およびその婦人部、青年部が積極的な活動を行うとともに、新たな商業集積のありかたや、活性化に向けた研究に取り組んでいます。

工業については、山陽自動車道熊毛インターチェンジに近いという交通の利便性から、近年になって注目され始めました。平成4年、本町初の本格的工業団地が東荷に完成し、すでに町外から5社の進出が決定したことにより、今後の工業振興にも大きな期待が寄せられています。

やりがい
活力



●ほ場整備事業



●大和工業団地



●町内の竹を使ったイベント

やまの
人

杉尾 正さん



個性のある農業を

うちではカーネーションと菊をメインに、花を作りよります。今年（平成5年）はよいよいけんかったね、長雨と日照不足、それに台風でね。3回も水に浸かってしまった。おとしの19号のダメージもひどかったから、復興はたいへんよ。どねえにかせんにやいけんとか試行錯誤しよるところじゃけどなかなかねえ。将来的にはカーネーションを温室で2000坪くらい作って、ここで他の物を作るようにしたい。これからの農業は個性のあるもんしか生き残れん。育種もおもしろいから、オリジナルを作って出したいんじゃけど、これもなかなかたいへんでね。大和町もご多分にもれず、高齢化しよる。農家もう個人じゃできん時代になるから、組織的な農業ができるよう基盤整備をきちんとしてもらいたいね。

TOWN INFORMATION



大和町役場代	☎48-2211	社会福祉協議会	☎48-2455	大和中学校	☎48-2803
議会事務局	☎48-5310	塩田土地改良区	☎48-5395	岩田小学校	☎48-2404
教育委員会	☎48-2411	東荷土地改良区	☎48-6455	三輪小学校	☎48-2402
保健センター	☎48-2010	町立大和総合病院	☎48-2111	塩田小学校	☎48-2657
大和保育園	☎48-2810	塩田公民館	☎48-2602	東荷小学校	☎48-2158
石城苑	☎48-2110	東荷公民館	☎48-2151	駐在所	☎48-2220
三輪福祉会館	☎48-2242	大和町スポーツセンター	☎48-5500	大和町商工会	☎48-2705
水源地	☎48-2105	伊藤公資料館	☎48-1623	岩田郵便局	☎48-2200
給食センター	☎48-4042	やまと苑	☎48-3333	大和塩田郵便局	☎48-2445
周南東部環境施設組合	☎48-2442	あけぼの園	☎48-4997	東荷郵便局	☎48-2446
森林組合	☎48-5390				

DATA of YAMATO

数字で見る大和町

■気温

(単位:℃)

年 度		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成6年	最高	17	14	18	25	28	31	38	35	34	29	25	20
	最低	5	6	8	16	16	22	28	30	25	18	15	8
7	最高	16	15	20	23	28	29	31	32	30	28	25	18
	最低	5	7	6	11	16	22	23	26	23	20	17	3
8	最高	15	21	22	25	31	35	37	36	35	30	26	20
	最低	2	2	8	9	18	21	25	25	20	15	9	3
9	最高	19	19	21	24	29	32	35	35	34	32	24	19
	最低	6	5	11	15	18	23	24	26	22	11	12	8

観測場所 大和町水源地 観測時間 12:00

■降水量

(単位:mm)

年 度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間雨量
平成5年	52.50	116.00	108.00	141.00	199.00	442.50	914.50	477.50	281.00	108.00	172.50	70.50	3,803.00
6	45.50	142.00	105.50	255.50	192.50	174.50	169.50	12.50	57.00	90.50	55.00	47.50	1,347.50
7	32.00	33.00	115.00	241.00	246.00	233.50	373.50	11.50	178.50	84.50	23.00	8.50	1,580.00
8	31.50	44.00	188.00	98.00	81.50	430.00	120.00	134.00	102.00	52.50	43.00	57.50	1,382.00
9	25.50	46.00	139.00	197.00	286.00	140.00	489.50	85.50	256.00	16.50	252.00	70.00	2,003.00

大和町役場建設課

■人口と世帯数の推移

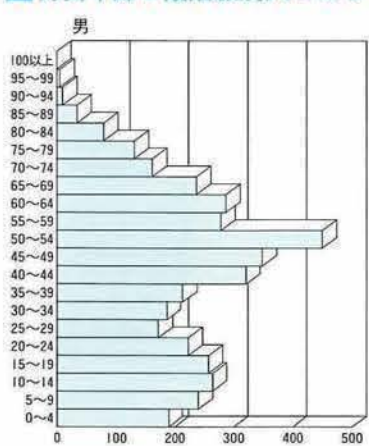
(単位:人・世帯)

年 次	人 口			世帯数 総 数	1世帯当り 人 口	人口密度 32.09/km ²
	総 数	男 性	女 性			
昭和35年	7,179	3,515	3,664	1,561	4.60	223.7
40	6,713	3,283	3,430	1,589	4.22	209.2
45	7,182	3,463	3,719	1,834	3.92	223.8
50	8,001	3,859	4,142	2,106	3.80	279.3
55	8,914	4,282	4,632	2,350	3.79	277.8
60	8,982	4,280	4,702	2,465	3.64	279.9
平成2年	8,799	4,197	4,602	2,518	3.49	274.2
7	8,578	4,078	4,500	2,661	3.22	267.3

各年10月1日現在

総務庁統計局「国勢調査」

■男女年齢5歳階級別人ロピラミッド



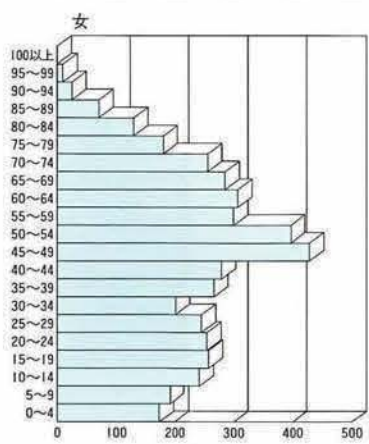
■年齢別(3階層)人口

(単位:人・%)

年 次	総 数 (人)	総 数 (%)			総 数 (人)	総 数 (%)		
		0~14歳	15~64歳	65歳以上		0~14歳	15~64歳	65歳以上
昭和35年	7,179	2,126	4,402	651	100.0	29.6	61.3	9.1
40	6,713	1,621	4,435	657	100.0	24.1	66.1	9.8
45	7,182	1,617	4,804	761	100.0	22.5	66.9	10.6
50	8,001	1,888	5,220	893	100.0	23.6	65.2	11.2
55	8,914	2,118	5,690	1,106	100.0	23.8	63.8	12.4
60	8,982	1,932	5,771	1,279	100.0	21.5	64.3	14.2
平成2年	8,799	1,480	5,875	1,444	100.0	16.8	66.8	16.4
7	8,578	1,288	5,668	1,622	100.0	15.0	66.1	18.9

各年10月1日現在

総務庁統計局「国勢調査」



(平成7年10月1日現在)

産業別就業者数

(単位：人・%)

年次	総数	第1次産業					第2次産業					第3次産業										分類
		計	構成比	農業	林業	水産業	計	構成比	鉱業	建設業	製造業	計	構成比	電気ガス水道	運輸通信	卸小売業	金融保険	不動産業	サービス業	公務	不能	
昭和50年	4,009	1,011	25.2	1,004	5	2	1,477	36.8	0	401	1,076	1,498	37.4	4	313	464	52	5	539	121	23	
55	4,193	724	17.3	722	1	1	1,669	39.8	0	526	1,143	1,787	42.6	5	329	574	38	2	724	115	13	
60	4,309	784	18.2	783	1	0	1,610	37.4	2	476	1,132	1,913	44.4	12	304	592	53	7	810	135	2	
平成2年	4,283	535	12.5	533	1	1	1,697	39.6	0	452	1,245	2,049	47.8	14	270	671	68	5	899	122	2	
7	4,429	500	11.3	498	2	0	1,803	40.7	2	531	1,270	2,119	47.8	11	258	646	68	3	1,001	132	7	
岩田	1,751	122	7.0	122	0	0	720	41.1	1	195	524	905	51.7	5	104	302	34	3	411	46	4	
三輪	1,498	107	7.1	106	1	0	664	44.3	1	179	484	725	48.4	4	78	227	23	0	354	39	2	
塩田	614	153	24.9	152	1	0	199	32.4	0	82	117	262	42.7	2	31	62	6	0	138	23	0	
束荷	566	118	20.8	118	0	0	220	38.9	0	75	145	227	40.1	0	45	55	5	0	98	24	1	

各年10月1日現在

総務庁統計局「国勢調査」

農家数の推移

(単位：世帯・%)

年次	実数					構成比				
	総数	専業	兼業			総数	専業	兼業		
			計	第1種兼業	第2種兼業			計	第1種兼業	第2種兼業
昭和50年	955	92	903	95	808	100	9.6	94.6	10.0	84.6
55	914	106	808	110	698	100	11.6	99.3	12.0	76.3
60	872	134	738	52	686	100	15.4	84.6	6.0	78.7
平成2年	773	127	646	61	585	100	16.4	83.6	7.9	75.7
7	711	130	581	18	563	100	18.3	81.7	2.5	79.2

各年2月1日現在

農林水産省「農業センサス」

工業の状況

(単位：人・万円)

年次	事業所数	従業者数			製造品出荷額等			
		実数	対前年増減	指数 (60年=100)	実数	対前年増減	前年対比 (%)	指数 (60年=100)
昭和60年	9	146	-21	100.0	78,105	-10,933	87.7	100.0
61	10	153	7	104.8	74,675	-3,430	95.6	95.6
62	10	168	15	115.1	86,103	11,428	115.3	110.2
63	10	186	18	127.4	106,743	20,640	124.0	136.7
平成元年	12	193	7	132.2	151,737	44,994	142.2	194.3
2	11	180	-13	123.3	146,892	-4,845	96.8	188.1
3	12	189	9	129.5	169,269	22,377	115.2	216.7
4	11	196	7	134.2	257,357	88,088	152.0	329.5
5	11	188	-8	128.8	221,835	-35,522	86.2	284.0
6	14	208	20	142.5	228,755	6,920	103.1	292.9
7	14	204	-4	139.7	246,408	17,653	107.7	315.5
8	13	195	-9	133.6	304,403	57,995	123.5	389.7

各年12月31日現在

通商産業省「工業統計調査」

商業の状況

(単位：人・万円)

年次	総数			卸売業			小売業			飲食業		
	商店数	従業者数	年間販売額	商店数	従業者数	年間販売額	商店数	従業者数	年間販売額	商店数	従業者数	年間販売額
昭和49年	95	269	140,914	6	20	22,019	89	249	118,895	8	18	2,360
51	95	262	211,784	4	14	17,358	91	248	194,426	11	22	3,267
54	96	325	264,752	4	14	18,310	92	311	246,442	11	22	7,873
57	104	344	393,671	7	36	57,957	97	308	335,714	11	23	7,200
60	100	336	410,256	5	25	65,799	95	311	344,457	8	18	6,765
63	95	332	392,317	6	28	54,387	89	304	337,930	7	16	6,810
平成3年	94	350	446,228	7	29	97,288	87	321	348,940	6	16	6,310
6	86	284	412,877	6	12	45,480	80	272	367,397	...	...	...

通商産業省「商業統計調査」

昭和49年・51年は5月1日現在、昭和54年・57年は6月1日現在、昭和60年は5月1日現在、昭和63年6月1日現在、平成3年・6年は7月1日現在

昭和60年の飲食業は昭和61年10月1日現在、63年は平成元年10月1日現在、平成3年は平成4年10月1日現在

飲食業は総数に含めない

一般会計決算額(歳入)

(単位：千円)

科目	平成5年度		平成6年度		平成7年度		平成8年度	
	決算額	構成比%	決算額	構成比%	決算額	構成比%	決算額	構成比%
町税	579,344	10.84	534,511	13.30	561,500	14.52	583,987	13.62
地方譲与税	55,857	1.05	56,965	1.42	58,489	1.51	59,129	1.38
利子割交付金	23,639	0.44	34,118	0.85	24,804	0.65	13,566	0.32
自動車取得税交付金	21,960	0.41	23,892	0.59	25,407	0.66	27,252	0.64
地方交付税	1,898,657	35.54	1,902,739	47.37	1,976,234	51.12	2,084,439	48.62
交通安全対策特別交付金	900	0.01	928	0.02	923	0.03	911	0.02
分担金及び交付金	129,599	2.43	142,555	3.55	142,159	3.68	168,789	3.94
使用料及び手数料	41,377	0.77	44,083	1.10	44,968	1.16	46,266	1.08
国庫支出金	249,391	4.67	226,231	5.63	279,887	7.24	199,220	4.65
県支出金	440,172	8.24	474,716	11.82	377,394	9.76	470,034	10.96
財産収入	36,238	0.68	13,284	0.33	11,873	0.31	39,889	0.93
寄付金	275	0.01	2,000	0.05	4,274	0.11	14,134	0.33
繰入金	489,156	9.16	57,016	1.42	51,158	1.32	107,504	2.51
繰越金	76,559	1.43	90,264	2.25	47,086	1.22	99,601	2.32
諸収入	28,359	0.53	25,393	0.63	21,409	0.55	17,084	0.40
町債	1,271,100	23.79	388,400	9.67	238,000	6.16	355,000	8.28
歳入合計	5,342,583	100.00	4,017,095	100.00	3,865,565	100.00	4,286,805	100.00

大和町役場総務課

一般会計決算額(歳出)

(単位：千円)

科目	平成5年度		平成6年度		平成7年度		平成8年度	
	決算額	構成比%	決算額	構成比%	決算額	構成比%	決算額	構成比%
議会費	75,446	1.44	76,581	1.93	78,128	2.07	80,846	1.94
総務費	623,308	11.87	575,585	14.50	572,065	15.19	790,587	18.95
民生費	1,152,806	21.95	1,201,777	30.27	887,835	23.58	966,650	23.17
衛生費	172,466	3.28	196,044	4.94	522,364	13.87	536,160	12.85
労働費	1,225	0.02	1,223	0.03	1,302	0.03	1,268	0.03
農林水産費	240,894	4.59	316,468	7.97	219,779	5.84	233,115	5.59
商工費	9,764	0.19	9,557	0.24	11,623	0.31	13,753	0.33
土木費	2,041,669	38.87	769,034	19.37	657,218	17.45	646,483	15.49
消防費	214,105	4.08	124,716	3.14	136,705	3.63	133,864	3.21
教育費	209,550	3.99	208,677	5.26	227,858	6.05	232,794	5.58
災害復旧費	158,264	3.01	99,535	2.51	35,554	0.95	14,408	0.34
公債費	300,679	5.72	370,181	9.32	394,743	10.48	506,542	12.14
諸支出金	52,143	0.99	20,631	0.52	20,790	0.55	15,862	0.38
予備費	-	-	-	-	-	-	-	-
歳出合計	5,252,319	100.00	3,970,009	100.00	3,765,964	100.00	4,172,332	100.00

大和町役場総務課

国民健康保険給付の状況

(単位：千円)

年度	総人口 (人)	被保険者数 (人)	療養諸費 件数 (A)+(B)	療養諸費 費用額計 (A)+(B)	療養の給付(A)					
					計		診療費		調剤	
					件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額
平成5年	8,834	2,148	23,139	857,931	23,060	856,745	20,745	843,331	2,315	13,414
6	8,873	2,189	24,553	924,254	24,462	922,846	21,839	903,394	2,623	19,452
7	8,859	2,211	28,665	958,898	28,586	957,672	25,735	935,489	2,851	22,183
8	8,819	2,258	30,439	984,636	30,341	983,554	27,496	962,261	2,845	21,293

療養費(B)						その他(C)						高額療養費	
計		診療費		その他		計		出産育児一時金		葬祭費		件数	給付額
件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額		
79	1,186	8	90	71	1,115	49	1,410	4	960	45	450	362	28,724
91	1,408	-	-	91	1,408	67	3,670	12	3,120	55	550	407	28,230
79	1,226	-	-	79	1,226	60	2,340	6	1,800	54	540	376	25,768
98	1,082	-	-	98	1,082	51	3,960	9	2,700	42	1,260	410	25,729

総人口は各年度9月30日現在の住民基本台帳による。

大和町役場保健衛生課

■保育園の状況

(単位：人)

園 名	3 歳未満	3 歳	4 歳以上	合計
大 和 保 育 園	13	33	58	104

平成10年4月1日現在

大和保育園

■幼稚園の状況

(単位：人)

幼 稚 園 名	本 務 教 員 数			園 児 数		
	計	男	女	計	男	女
光 照 幼 稚 園	3	1	2	16	8	8
束 荷 幼 稚 園	3	1	2	11	6	5
三 輪 幼 稚 園	4	1	3	61	31	30
合 計	10	3	7	88	45	43

平成9年5月1日現在

文部省「学校基本調査」

■小学校の状況

(単位：学級・人)

学 校 名	教 員 数					児 童 数									
	学級数	総 数	本務者			総 数	男	女	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	
			総 数	男	女										
塩田小学校	5	8	8	3	5	47	22	25	3	4	7	7	13	13	
三輪小学校	8	13	13	5	8	155	82	73	24	19	27	25	33	27	
岩田小学校	8	12	12	6	6	240	135	105	40	39	44	41	39	37	
束荷小学校	6	9	9	3	6	59	29	30	8	8	10	8	12	13	
計	27	42	42	17	25	501	268	233	75	70	88	81	97	90	

平成9年5月1日現在

文部省「学校基本調査」

■中学校の状況

(単位：学級・人)

学 校 名	教 員 数					生 徒 数					
	学級数	総 数	本 務 数			総 数	男	女	1 学年	2 学年	3 学年
			総 数	男	女						
大和中学校	10	24	24	13	11	291	154	137	84	97	110

平成9年5月1日現在

文部省「学校基本調査」

■火災発生状況

年 度	発 生 件 数				焼 損 面 積		損 害 額 (千円)			
	建 物	林 野	その他	計	建物(m ²)	林野(a)	建 物	林 野	その他	合 計
平成5年	3	2	-	5	193	50	17,875	0	-	17,875
6	2	-	-	2	22	-	1,024	-	-	1,024
7	1	-	-	1	4	-	28	-	-	28
8	4	-	-	4	248	-	8,555	-	-	8,555

大和町役場総務課

■交通事故状況

(単位：件・人)

年 度	発生件数	人 身	死 者	傷 者	物 損
平成5年	130	23	0	27	107
6	162	29	2	32	133
7	144	22	0	25	122
8	192	39	0	45	153

大和町役場総務課

やばい



山口県熊毛郡大和町



町章

「大」の文字と、ひらがなの「と」
の字で「大、と」を図案化し、本町
の融和と飛躍を象徴する。
(昭和43年3月制定)



町の木 きんもくせい



町の花 あじさい